

名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻（材料化学講座）助教の公募

1. 公募人員：助教1名
2. 所属：化学システム工学専攻 材料化学講座（有機光電材料化学研究室）
3. 募集内容：有機系太陽電池などの有機電子素子の研究において、用いる有機材料の有機合成を行える方、もしくは、有機電子デバイスを作製できる方を公募します。また、化学システム工学専攻の大学院生の教育と研究指導を担当するとともに、学部教育にも協力していただきます。
4. 応募資格：博士の学位を有する方（着任までに取得見込みの方を含みます。）有機合成化学分野または有機電子素子分野の研究に取り組むことができる方。日本語で教育・指導ができること。
5. 着任時期：決定後、なるべく早い時期（採用時期については相談に応じます。）
6. 勤務形態：常勤（5年の任期あり、裁量労働制）。任期中の業績、研究の進捗状況等を公正に評価の上、1回に限り再任可。なお、教育・研究の実績及び能力、教員としての資質等を審査し、上位職への昇格が相応しいと認められた場合は、任期中に上位職（任期なし）への登用が可能です。*東海国立大学機構教員の任期に関する規程
https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110011019.htm
7. 待遇：東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。
https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm
給与は本学において定める年俸制とする。

8. 提出書類：

以下の書類を提出してください。

- (1) 履歴書（形式自由、写真添付、連絡先・電子メールアドレスを記載）
- (2) 研究業績リスト（査読付原著論文、総説、解説記事、著書、招待講演、特許など）
- (3) 主要論文の別刷3編以内（コピー可）
- (4) これまでの研究概要（A4、2ページ程度）
- (5) 今後の研究計画・教育についての抱負（A4、1ページ程度）
- (6) 応募者について照会可能な方（2名）の氏名・所属・連絡先
- (7) その他審査に役立つ情報（教育実績、学会・社会活動、獲得した外部資金（代表か分担かを明記）、受賞歴など）

応募書類は1つのPDFファイルにまとめ、以下のアドレスに添付で送信してください。その際、件名を「材料化学講座助教応募(氏名)」としてください。なお、受け取りの確認メール(受領後3日以内に発送)を必ずご確認ください。

E-mail: jinji2@material.nagoya-u.ac.jp

下記にご郵送いただいても結構です。その際は印刷物一式と、そのPDFファイルを保存した電子媒体(CD-R、USBメモリ等)を一括して簡易書留としたものを応募締め切りまでに郵送のこと。封筒には朱書きで「材料化学講座助教応募書類在中」と記載すること。

書類郵送先：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 工学部 マテリアル工学科
学科長 山本剛久 宛

なお、応募書類(USBメモリを含む)は返却しません。

9. 応募締切：2023年1月10日（火）必着。適任者が決まり次第、募集を終了する場合があります。

10. 問い合わせ先：名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻/工学部 マテリアル工学科 教授 松尾 豊

E-mail: yutaka.matsuo@chem.material.nagoya-u.ac.jp

Tel: 052-788-6113

11. その他：

- ・書類審査の後、必要に応じて面接・プレゼンテーション審査を行います(旅費等は応募者の自己負担となります)。

- ・提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

- ・本学は積極的に男女共同参画を推進しています。

- ・適任者がいない場合は、採用を保留することもあります。

- ・面接に要する交通費は支給しません。

- ・安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改訂に係る手続きについて

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。

これに伴い、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。該当者には後日連絡します。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。